

2021年6月31日

内分泌代謝内科・消化器内科に、通院されている、 過去に通院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日文科科学省・厚生労働省及び経済産業省)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされており、この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありませんし、患者さんが識別される情報の利用を停止します。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 脂質異常症患者、2型糖尿病患者におけるペマフィブラート、トホグリフロジンの使用が脂肪肝へ与える影響・治療効果についての前向きおよび後ろ向き検討

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 香川大学医学部附属病院 消化器内科 病院助教 中原 麻衣

[研究の目的]

近年生活習慣の変化や肥満人口の増加に伴い脂肪肝の罹患率は増加しており、非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD) / 非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)は肝硬変や肝癌の原因疾患として重要な課題です。しかし未だ根本的な原因治療は確立されておりません。糖尿病や脂質異常症のお薬について脂肪肝に対する改善効果を評価することがこの研究の目的です。

[研究の方法]

対象となる患者さん

20歳以上の脂質異常症もしくは2型糖尿病もしくはその両方の患者さんで、2018年6月1日から2025年12月31日までの間に、腹部超音波検査もしくは腹部CT検査の施行歴がありそこで脂肪肝を指摘された方。そのうち、フィブラート系脂質異常症治療薬のペマフィブラート、SGLT2阻害薬であるトホグリフロジンのいずれかもしくは両方を処方された方もしくはお薬の処方なしに食事運動療法での治療を行った方。

利用する検体・診療情報

診療情報：診断名、年齢、性別、検査結果(腹部エコー・CTの画像検査結果、血液検査結果)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院消化器内科 担当医師 中原麻衣

電話 087-891-2156 FAX 087-891-2158